
**自動組版で
冊子製作の「業務効率、品質安定、
コストダウン」を実現！**



TABLE OF CONTENTS

- 01 こんな悩みはありませんか？
- 02 自動組版とは
- 03 自動組版のメリット
- 04 自動組版に適しているもの
- 05 活用事例
- 06 デジタルブック
- 07 お問い合わせ

01

こんな悩みはありませんか？

- 原稿入稿～初校まで時間がかかる。もっと早くならないかな。
- excelで管理しているが、入稿は別ファイルなので煩雑になる。
- web用データと印刷用データを統一したい。



こんな悩みを「自動組版」が解決いたします。

02

自動組版とは

データベースを活用して文章情報を整形し、一定のルールに従ってデザインとレイアウトを行うことです。

お客様からいただいた情報を自動処理プログラムによってレイアウトします。レイアウトの雛形は当社で作成し、ご確認することができます。お客様がご用意するのは（テキスト、画像、Excel or CSV）のみとなります。

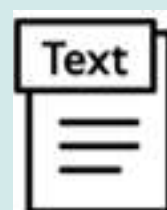
お客様がご用意するもの



Excel CSV



画像



テキスト



自動処理プログラム
によってレイアウト



印刷物・ウェブサイト
・PDFデータ納品



アウトプット

03

自動組版の メリット

スピーディー

入稿をもっと遅くすることができます。
また校正を短期間で提出することができます。

クオリティの均一化

一定のルールに従って作業するので
クオリティが保たれます。

ミスの減少

人為的なミスの発生を極力減らすことができます。

コストダウン

フォーマット作成には初期費用が掛かりますが、定期的な更新が決まっている場合はコストダウンが図れます。長期での活用の場合はさらなるコストダウンが見込めます。

04

自動組版に適しているもの

- 繰り返しの単純作業が多いもの
(ページ数が多く、情報量が多いものはより効率化されます。)
- テキスト原稿が一定のルールに従って整頓されているもの
- 画一的なレイアウトになっているもの

05

活用事例

1. シーズ集での活用

オンラインのフォームを使用して原稿を収集することで、整理や手配の作業が不要になります。原稿の収集からレイアウトまではすべて自動で流し込みを行います。情報はデータベースで整理されており、ウェブサイトで研究情報の検索サイトを作成したり、デジタルブックに展開することもできます。



オンラインで
データ収集



2. 講座案内パンフレットでの活用

定形のフォーマットに講座の情報を入力するだけでレイアウトを行うことができます。講師から原稿を収集すればレイアウトまでの作業をすべて自動で行います。情報はデータベースで管理していますのでデータベースから過去情報を拾ってくれば、次回以降の更新作業もスムーズです。パンフレットの印刷のほか、デジタルブックへの展開も可能です。



活用事例

3. カタログでの活用

カタログ製作でのメリットは効率と安定した品質を確保できることです。

掲載商品名、価格や仕様などデータベースと連動することで基幹システムのデータを活用することができます（ExcelやCSVに変換）。したがって大幅に効率化が実現、データの再入力をする必要も無くなり、校正作業も大幅に軽減されます。事前に準備したレイアウトを使用して印刷用データを作成、またWebカタログも同時に作成することができます。



自動組版を活用することで、作成プロセスを合理化し、品質向上、効率化、一貫性の確保、そして迅速なカスタマイズが可能となります。これにより費用対効果を向上させることができます。

06

デジタルブック

**ActiBook**
by CloudCIRCUS

無料でカタログを電子化
配信も会員管理も¥0~

Paper

- 日常生活の中で目に留まる
- 情報がコンパクトにまとまっている
- 埋もれず、記憶に残りやすい
- 手渡しで確実に情報が届けられる

×

eBook

- 効果測定が得意
- 拡散されやすい
- 配信数が増えても、コストがほぼ変わらない
- 配信後も更新可能



URLをシェアするだけ 読者の興味がログで分かる 特別な人にだけの配信も

■ 電子ブックを簡単作成

ドラッグ&ドロップで簡単アップロード

コンテンツ（PDF・動画）をドラッグ&ドロップで簡単にアップロード。システムに従って設定していくだけで、簡単に電子ブックを作成～配信可能。

目次の設定

目次のタイトルと対象のページ数を設定するだけで目次を簡単に設置できます。CSVで一括設定できるので、電子ブックのページを差し替えたり、削除した際のページのずれを簡単に解消できます。

リンクの設定

リンクを張りたいエリアを選択し、URLを設定するだけで、リンクの設置が可能です。

音声・動画の埋め込み

埋め込みたい範囲を選択して、音声データや動画データを埋め込むことができます。

電子ブックをカテゴリで管理

電子ブックごとにカテゴリ分け可能。ユーザーグループに応じた公開設定もできます。たとえば、

- 作品のシリーズごとに整理
- 部署ごとに資料を整理
- 学校のクラスごとに教材を整理

■ 作った電子ブックの公開サイトも簡単公開・運営

公開サイトが簡単に構築・公開

専門知識がなくても、あなた専用のサイトを簡単に公開・管理できます。

複数アカウントでサイト運営

全ての運営機能を使える「管理者」アカウントに加え、コンテンツの追加とPush通知の設定のみができる「配信者」アカウントが作れます。たとえば、

- 広報部社員でサイト運営できるように
- 会員が自分で漫画や小説をアップロードできる投稿サイトに

ユーザーをグループで管理

公開サイトの登録ユーザーをグループ分けして、見られる電子ブックのカテゴリ設定や公開サイトの運営権限を一括設定可能です。たとえば、

- 学校のクラスごとにグループ分けして、そのクラスだけに電子ブックで教材を配布
- 教員を配信者のグループにして各々が教材配信できるように

©shinfield

1

ActiBookの活用例

<https://www.o-wave.or.jp/public/profile/publish/eb/o-wave/2016/HTML5/pc.html#/page/1>

06

デジタルブック

①操作性の違い



縦スクロール



見開き方向はカスタマイズ可能
本物の紙媒体のような操作感

②表示スピードの違い



200Pあれば200Pを
読み込んでから表示



読み込んだページから表示

PDFとの違い①

“

操作性と表示スピードが違う

①操作性

PDFでは縦スクロールで資料を読んでいくため「知らないうちにページを読み飛ばしていた」というケースも起こりかねません。電子ブックは、**本物の紙媒体を捲っているかのような操作感でコンテンツを閲覧**できます。見開き方向はカスタマイズも可能です。デジタルに苦手意識のある方にも受け入れられやすい傾向があります。

②表示スピード

PDFは**全ページを読み込んでから表示するダウンロード型**、電子ブックは**読み込んだページから表示するストリーミング形式**なのでコンテンツ表示までのスピードが違います。

©shinfield

2

06

デジタルブック



電子ブック内で、動画を埋め込みたい箇所を指定し、動画をアップロード



動画埋め込み完了

PDFとの違い②

動画埋め込みやリンク設置で リッチコンテンツ化

PDFでも動画の埋め込みやリンクの設置はできますが、特別なツールが必要であったり、データが重くなるほどPDF表示スピードが遅くなったりするため、あまり活用されていません。

電子ブックでは、ストリーミング形式での表示なのでPDFのようにデータの大きさを心配する必要はなく、**動画をアップロードするだけで埋め込みが完了**するので、簡単に**ホワイトペーパーをリッチコンテンツ化**することができます。

動画で伝わる情報はテキストの5000倍とも言われており、ツールの説明動画や、PR動画を埋め込むことでユーザーに紙面の大きさ以上の情報を伝えられます。

07

お問合せ

会社名 株式会社エクシート

住 所 本社 / 〒919-0482 福井県坂井市春江町中庄61-32 TEL : 050-1791-0764

東京営業所 / 〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル6階

株式会社ディコミュニケーションズ内 TEL : 080-4611-7173

H P <https://exceet.co.jp/>